

KAWASAKI STEEL GIHO

Vol.20 (1988) No.2

---

Applications of Expert System at Kawasaki Steel

(Shinya Arai)

(Satoshi Hukumura)

(Ichiro Maeda)

(Osamu Iida)

(Eiki Yamakawa)

---

Synopsis :

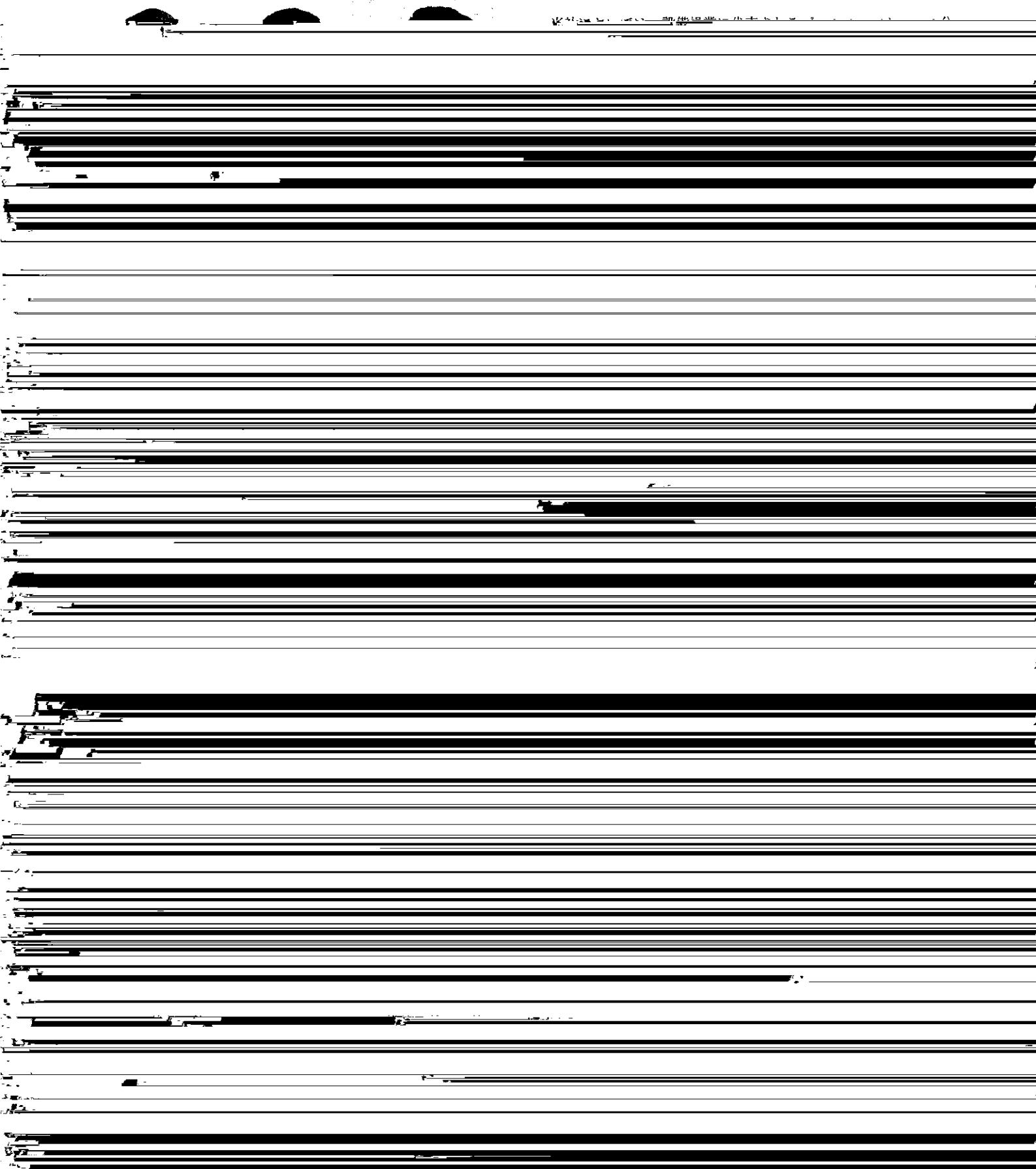
In the last five years, Kawatetsu Steel has developed many expert systems for steelmaking processes, such as production control and process/operation control. The

# エキスパートシステムの活用\*

川崎製鉄技報  
20 (1988) 2, 164-169

## Applications of Expert System at Kawasaki Steel

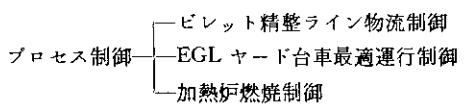
### 要旨



定量表現できない、(b) 制約条件や評価基準が多数あり、互いにトレードオフ関係にある、(c) 状況がダイナミックに変化し、画一的アルゴリズムであらわせないといったものである。

(2) プロセスコンピュータ分野

(2) プロセスコンピュータ分野



[Decision of the]

[Decision of the]

Judgement about

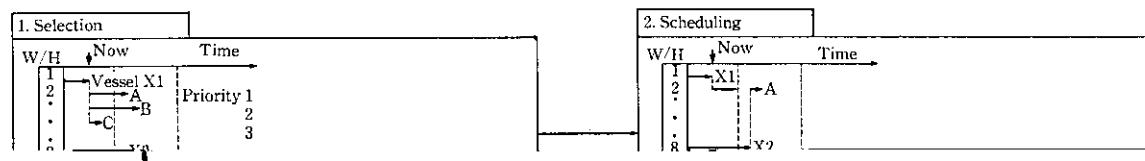
thermal state

Judgement of

thermal condition

Judgement about

cooling effect



Classification of works	
1986/9	Development of
	Knowledge collection
	Knowledge adjustment
	Knowledge formulation

ルを類型化し蓄積することが今後重要である。

例えば、制御問題では、以下のように知識を構造化することが有効である。

く宣言的に扱える、個々の知識の独立性を保ちながら構造的に表現することが可能等の利点がある。

(2) ソフトウェアの説解性が高い。

(3) 開発者間隔離の離れたソフトウェアツールが田舎者でい

## 6 結 言

ビジネスアプリケーション分野およびプロセスコントロール分野  
におけるエキスパートシステムの適用とその実績を述べた。

る。

以上のことから「プロトタイピング手法」がとりやすい。

るエキスパートシステムの活用内容について紹介した。

その成果は、以下のとおりである。